

4-1-6-8 皮膚科

1. 概要と特色

お母さん方から、赤ちゃんの皮膚に発疹が出ると、小児科にかかったらいいのか、皮膚科にかかったらいいのか、わからないとよく言われる。母親は乳児に発疹が出ると、全身的な病気なのか、皮膚だけの病気なのか迷うことが多い。そのような場合の橋渡しをするのが私たちの役目である。近隣だけでなく、地方からも小児科や皮膚科から、それぞれのドクターがみても診断がつかないとか、治療が難しいので診てほしいという紹介患者さんがいらっしゃる。

小児の皮膚疾患は大変病気の数が多いが、一般的によくみられる湿疹・皮膚炎および生まれつきのあざの診断と治療はもちろんのこと、先天的あるいは遺伝的な病気の治療と検査まで、すべての小児皮膚疾患の診療を広く行っている。

2. 外来診療

外来診療は、毎日午前午後、予約制で行っている。

アトピー性皮膚炎などの湿疹・皮膚炎	診断 アレルギー検査 外用療法 スキンケア指導
あざ（血管腫、太田母斑、異所性蒙古斑など）	赤ちゃんから安全なレーザー治療 症候群などの全身診断と治療
足や手のほくろ	悪性か良性かの診断 炭酸ガスレーザー治療
治りにくい円形脱毛（全頭脱毛など）、毛髪疾患 尋常性白斑	SADBEなどの 局所免疫療法 紫外線治療など
やけど	早期治癒を目的に 瘢痕を予防
イボ、水イボなどのウイルス感染症	早期治癒を目的に 小さいお子さんのための 無痛の治療
にきび しみ	診断 治療 安全なケミカルピーリング
角化症、魚鱗癬	診断、検査、治療
その他の遺伝性、先天性疾患	診断、治療、遺伝子検査、遺伝相談
その他小児の皮膚疾患のすべて	腫瘍の小手術 病理診断など

3. 入院診療

アトピー性皮膚炎で、自宅では治療ができない場合

全身状態、栄養状態が悪い場合の改善

全身麻酔が必要な場合の管理